

第23回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA アジア大会(ホール審査) 総評

ショパニストB部門

●審査員 A

非常にレベルが高く、卓越した演奏でした。私たち演奏家は、作品から読み取れる作曲家の個性と演奏者の個性とをうまく調和できるように努力しなければなりません。

●審査員 B

全体として内容的に安定している感じを持ちました。表現の幅、音色の選択もより豊かになっているように思えました。ピアノへの真摯な取り組みに敬意を払いたい。

ただ矢張り、少し自己流の音楽になりがちなケースの多いことが気にかかります。楽譜と常に向き合うことを忘れずにいて下さい。

●審査員 C

朝から弾いてきた楽器が鳴るようになったのもあり、聴きごたえのある演奏が続きました。中にはコンクールであることを忘れ、涙が浮かぶほど弱音や表現意欲が自発的ではっとさせられる方もいらっしゃいました。反面、素晴らしい基本をお持ちなので解釈や双方をあと一步深めていただけたらと惜しく感じた方もいらっしゃいました。平凡な言い方ですが、「技術と音楽が共に育っている人」「技術は音楽のためにある」など思いながら聴かせていただきました。そして私も早く自宅に帰ってピアノを弾きたくなりました。

人の心を惹きつけて幸せにできるショパニスト(ショパン愛好家)を目指して下さい。

●審査員 D

ショパンにチャレンジする向上心、研究心に非常に好感が持てます。

テクニックも安定してよく伝わる演奏が多く見られました。

ユニゾンの響き、フレーズの方向性、ペダルの可能性等を更に考えると楽しい逸材に期待します。

●審査員 E

演奏者の思い入れが強く感じられ、個性となって伝わって来ました。

更に向上させるには、色々なニュアンス(単なる強弱ではなく、キャラクターを伴った)、タッチの研究をする
と良いでしょう。

音楽は再生でなく、創造!

●審査員 F

様々な音の物語が浮かび上がってくるかのような豊かな表情の演奏が多かったです。

ペダルの使い方によって、より豊かな響きや音の色合いを生み出すことができるかと思います。それから、いろいろなピアニストの演奏を聴き比べてみて下さい。解釈の助けになると思います。